

条件検索使用説明書

KEMPOSの検索機能としては、大きく分けて2つあります。

1つは、期限検索で、これは期限に特化した検索機能です。
審査請求・年金納付・中間手続等の期限の検索を行なうためのものです。
設定により、起動時に自動的に予め指定した期間（今日から1週間以内等）で、予め指定した種類の期限（年金期限等）を検索し結果を表示するようにしておくこともできます。

条件検索は、様々な条件を指定して出願台帳の検索を行い、検索結果を印刷及びエクセル出力するためのシステムです。

こちらは、日付と期間以外に、出願人・キーワード等、様々な条件を指定することができます。フォーム上で入力した様々な条件を組み立てて出願台帳の検索を行なうことができます。

条件検索で検索した結果を印刷するための帳票は、リスト様式にて登録し、印刷様式をレポートとして作成することで、ユーザーサイドでカスタマイズした帳票の印刷が可能となっています。

ここでは、主に条件検索の検索指定項目の指定方法と、その指定がどのような意味を持つのかデータベースのどこを検索対象としているのかを中心に説明します。

また、それを補うものとしてリスト様式の設定及び任意条件設定テーブルの説明を、必要な箇所で行います。

目次

(1) 条件検索の基本仕様	-----	3
(2) 初期画面	-----	4
(3) 検索条件の指定	-----	7
①表題部	-----	7
②日付／番号	-----	9
③顧客	-----	12
④担当者	-----	14
⑤KeyWord	-----	15
⑥出願経過	-----	16
⑦ファミリー	-----	17
⑧期限案内	-----	19
⑨任意条件	-----	20
⑩条件式	-----	22
(4) 検索結果の印刷	-----	23
(5) 検索結果のエクセル出力	-----	25

(1) 条件検索の基本仕様

- ・データベースに対する検索は、通常以下ようになります。

```
SELECT 選択項目  
FROM 選択対象のテーブル  
WHERE 選択条件
```

- ・条件検索においても、このような構造となっています。

```
SELECT 選択項目  
    ここで選択項目は、3つの場合に分かれます。  
    -画面に表示する項目（プログラムで固定されています）  
    -印刷する項目（リスト様式の選択項目タブの上段で指定しています）  
    -エクセルへ出力する項目（リスト様式の選択項目タブの下段で指定しています）
```

FROM 選択対象のテーブル

- リスト様式の選択台帳タブの上段で指定しています
- 通常は出願台帳と出願人台帳を結合したものとなっています。具体的には以下のとおりです。
(tblAppMas inner join tblAppCus ON tblAppMas.出願 ID = tblAppCus.出願 ID)
ここで、出願台帳 (tblAppMas) でなく、出願人台帳 (tblAppCus) を結合したものとしているのは、出願人を指定しての検索の便宜のためです。

WHERE 選択条件

- 選択条件は、条件検索の画面で入力した内容にしたがって組み立てられます。

(2) 初期画面

初期メニューから「条件検索」ボタンを押しますと、以下のような画面が表示されます。
これが、条件検索の初期画面です。

整理番号	出願分類	顧客名	名称	出願番号	登録番号	出願日
------	------	-----	----	------	------	-----

リストの種類として「出願一覧表」が選択されています。
ここで最初に行なうべきことは、「リストの種類」を選択することです。
リスト様式に登録されているリスト一覧から条件検索で利用できるものが表示されますので、そこから選択します。
これは必ず選択する必要があります。

リストを選択することで、リスト様式での指定にしたがって、各種の選択項目の値が設定されます。

初期設定される項目は以下のとおりです。

「自他区分」「内外区分」「法区分」「並び順1」「並び順2」「顧客種別」「依頼人フラグ」
「検索日」「応答期限」「期限除外」「担当種別」「関連種別」「状態」「未印刷」「live」
「任意条件」

以下に、リスト様式での設定との関連を示します。

リスト様式の設定画面

- ① 自他分類 : 自他区分を設定します。全種、自願、係争、他願の4つが選択出来ます
- ② 内外区分 : 内外の区分を設定します。全種、内内、外内、内外、国内、自動の6つが選択出来ます。
- ③ 法分類 : 四法の分類を設定します。全分類、特許、実用新案、意匠、特実、特実意の6つが選択出来ます。
- ④ 担当種別 : 担当種別を設定します。全種別、管理担当、処理担当の3つが選択出来ます。
- ⑤ 検索日指定 : 検索日の日付を指定することが出来ます。検索したい日付を入力します。
- ⑥ 状態指定 : 権利状態を指定することが出来ます。通常、願番待、未請求、請求放棄の4つが選択出来ます。
- ⑦ 応答期限 : 各種応答期限を指定する事が出来ます。
- ⑧ 関連出願 : 関連出願を設定します。国内優先、優先権、原出願の3つが選択出来ます。
- ⑨ 期限解除 : 期限解除を指定します。期限除外したい期限を入力出来ます。
- ⑩ 顧客種別 : 顧客種別の初期値を指定します。
- ⑪ 印刷順 : 印刷する項目の順番を指定できます。出願日と記入した場合は出願日順に印刷出来ます。
- ⑫ 印刷順2 : 印刷する2つ目の項目を指定出来ます。印刷順と同じ仕様です。
- ⑬ チェック項目 : 条件検索にある各ボタンを押した状態にするかチェックする項目です。
- ⑭ 任意条件 : 検索の初期値に任意の条件を記入できる項目です。

選択条件の指定が終了したら、検索ボタンを押して検索を行います。
データベースへの検索が行なわれ、結果が画面に表示されます。

以下が検索結果の画面です。

The screenshot shows a web application interface for search results. At the top, there's a title bar '条件検索: フォーム' and a main heading '条件検索一覧' with a dropdown menu set to '出願一覧表'. Below this are several buttons: 'Edit', 'Preview', 'And', 'Or', 'Not', '検索', '印刷', and 'Excel'. A secondary row contains 'PrintDate' (平成21年01月16日), 'List SEQ' (出願日), and 'Select Result' (All, Clear, HDR, NoPr, Live, Html). A table of filters follows, including '日付/番号', '顧客', '担当者', 'Keyword', '出願経過', 'ファミリー', '期限案内', '任意条件', and '条件式'. Below the filters are three rows of input fields for '日付指定', '手続指定', and '番号指定', each with a dropdown menu and a 'IsNull' checkbox. To the right are '応答期限', '期限除外', '追納', '関連', and '状態' dropdowns. At the bottom is a table with columns: '整理番号', '出願分類', '顧客名', '名称', '出願番号', '登録番号', and '出願日'. The first row is highlighted with a mouse cursor.

整理番号	出願分類	顧客名	名称	出願番号	登録番号	出願日
P2003-002	特許(日)	アルプス電気株式会社	123			2005/01/10
P2005-002	特許	アルプス電気株式会社		2005-001122		2005/01/28
U2005-001	実案H17	アルプス電気株式会社		2005-022334		2005/04/01
P2000-001	特許	アルプス電気株式会社		2005-334455		2005/12/12
P2005-001	特許	アルプス電気株式会社	レーザープリンタ	2005-000111		2006/01/01
P2005-001-P	特許	アルプス電気株式会社				2006/01/01
P1000	特許	アルプス電気株式会社		2006-001122		2006/01/10

検索結果に対して、印刷・エクセル出力等を行なうことができます。
各ボタンの機能は以下のとおりです。

①台帳

このボタンを押すことで、現在選択されている行 (▶のマークのついている行) の出願台帳が表示されます。その行の整理番号をダブルクリックすることでも同じ結果となります。

②包袋

このボタンを押すことで、現在選択されている行 (▶のマークのついている行) の電子包袋が表示されます。出願台帳で包袋呼出ボタンを押したのと同じです。

③Edit

上記①で出願台帳を開く場合に閲覧のみか編集可能かを指定します。
ログインしたユーザーのアクセス権が閲覧のみの場合は、このボタンは使用不可となっております。押すことはできません。

④Preview／⑤印刷

「印刷」ボタンを押すことで、指定した帳票 (この場合は「出願一覧表」) が印刷されます。
その場合「Preview」が True の場合はプレビュー、False の場合は印刷となります。

⑥Excel

検索結果をリスト様式で指定した内容でエクセルへ出力します。

⑦Html

検索結果から包袋の図形(イメージ)のみを取り出して表示します。
主に図面を一覧するために設けている機能です。

(3) 検索条件の指定

【表題部】

The screenshot shows a search form titled '条件検索 フォーム'. The form includes several sections and fields:

- ①** Points to the '自' (Self) dropdown menu in the 'PrintDate' section.
- ②** Points to the '内内' (Inner) dropdown menu in the 'PrintDate' section.
- ③** Points to the '全種' (All) dropdown menu in the 'PrintDate' section.
- ④** Points to the '出願日' (Application Date) dropdown menu in the 'List SEQ' section.
- ⑤** Points to the '検索' (Search) button.
- ⑥** Points to the '印刷' (Print) button.

The form also features a 'Select Result' section with options like 'All', 'Clear', 'HDR', 'NoPr', 'Live', and 'Html'. Below this is a 'Link' section with tabs for '日付/番号', '顧客', '担当者', 'Keyword', '出願経過', 'ファミリー', '期限案内', '任意条件', and '条件式'. The '台帳' (Ledger) section has fields for '日付指定', '出願日', 'IsNull', '応答期限', and '期限除外'. The '布袋' (Bag) section has fields for '手続指定', '除満了', '日付範囲', '番号指定', 'IsNull', and '番号範囲'. At the bottom, there is a table header with columns: '整理番号', '出願分類', '顧客名', '名称', '出願番号', '登録番号', and '出願日'. A record count indicator at the bottom left shows 'レコード: 1 / 1'.

① 自他区分

出願台帳 (tblAppMas) の自他区分 (CtrlType) を絞込みの対象とします。

「全種」「自願」「係争」「他願」から選択、初期値は「自願」です。

- ・全種：自他区分を指定しません。
- ・自願：自願を指定します。（「AND tblAppMas.CtrlType = 1」が選択条件に付加されます。
- ・係争：係争を指定します。（「AND tblAppMas.CtrlType = 2」が選択条件に付加されます。
- ・他願：他願を指定します。（「AND tblAppMas.CtrlType = 3」が選択条件に付加されます。

② 内外区分

出願台帳 (tblAppMas) の内外区分 (HomeType) を絞込みの対象とします。

「全種」「内内」「外内」「内外」「国内」

- ・全種：内外区分を指定しません。
- ・内内：内内を指定します。（「AND tblAppMas.HomeType = 1」が条件に付加されます。
- ・外内：内内を指定します。（「AND tblAppMas.HomeType = 2」が条件に付加されます。
- ・内外：内内を指定します。（「AND tblAppMas.HomeType = 3」が条件に付加されます。
- ・国内：内内+外内を指定します。（「AND tblAppMas.HomeType IN (1, 2)」が条件に付加されます。

③法区分

出願台帳 (tblAppMas) の法区分 (LawType) を絞込みの対象とします。

「全種」「特許」「実案」「意匠」「商標」「特実」「特実意」「意商」「他」

- ・全種：法区分を指定しません。
- ・特許：特許を指定します。(「AND tblAppMas.LawType = 1」) が条件に付加されます。
- ・実案：実用新案を指定します。(「AND tblAppMas.LawType = 2」) が条件に付加されます。
- ・意匠：意匠を指定します。(「AND tblAppMas.LawType = 3」) が条件に付加されます。
- ・商標：商標を指定します。(「AND tblAppMas.LawType = 4」) が条件に付加されます。
- ・特実：特+実を指定します。(「AND tblAppMas.LawType IN(1, 2)」) が条件に付加されます。
- ・特実意：特+実+意を指定します。(「AND tblAppMas.LawType IN(1, 2, 3)」) が条件に付加されます。
- ・意商：意+商を指定します。(「AND tblAppMas.LawType = IN(3, 4)」) が条件に付加されます。
- ・他

④出願国

「空白」「国コード」

- ・プルダウンリストから出願国を1カ国指定します。

⑤NoPr (トグルボタン：押し込むことでTrueとなる)

- ・Trueを指定した場合、(「AND tblAppMas.印刷済 = 0」) が条件に付加されます。

⑥Live (トグルボタン：押し込むことでTrueとなる)

- ・Trueを指定した場合、(「AND tblAppMas.消滅 IS NULL AND tblAppMas.消滅日 IS NULL」) が条件に付加されます。

【日付／番号】

The image shows a search form with the following fields and buttons:

- ① 日付指定 (Date Selection)
- ② 出願日 (Application Date)
- ③ IsNull (Button)
- ④ 応答期限 (Response Period)
- ⑤ 期限除外 (Exclusion Period)
- ⑥ 追納 (Button)
- ⑦ 関連 (Related)
- ⑧ 状態 (Status)

The form also includes tabs for 顧客 (Customer), 担当者 (Staff), KeyWord, 出願経過 (Application Progress), ファシリ (Facilitator), 期限内 (Within Period), 任意条件 (Optional Conditions), and 条件式 (Condition Formula). Other fields include 手続指定 (Procedure Selection), 除満了 (Expiry), 日付範囲 (Date Range), 番号指定 (Number Selection), IsNull (Button), and 番号範囲 (Number Range).

①日付指定

日付の種類。条件検索の画面を開いたときの初期値は出願日。

指定した場合は、指定した日が入力されていることが条件となる。

例えば「出願日」を指定して、期間の開始／終了とも指定しなかった場合は、出願日が入力されていることが条件（NULLのものは除外される）となる。

指定なし（空白）とした場合は、「日付を検索対象としない」という意味となる。

したがって、全件を対象としたい（出願日の入力の有無に関係なく）場合は、日付指定は空白にしておく。

「IsNull」ボタンをTrue（押し込んだ状態）にした場合は、指定した日付が入力されていないことが条件となる。

例えば、登録になっていないものといった場合に、日付指定を登録日として IsNull を押した場合登録日が入力されていないものという条件の指定になる。

②応答期限

上記①の日付指定が「応答期限」の場合のみ指定可能。

応答期限の種類を更に絞り込むための指定です。

上記①で「応答期限」を選択した場合、ここで更に「意見書」「設定納付」等を指定することができます。

③期限除外

「ここで入力した日付けが入力されているものを除く」という指定になります。

具体的な例としては、日付指定に「審査請求期限」を指定した場合があります。

審査請求期限一覧の条件としては、「指定した期間内に審査請求期限があり、かつ審査請求日が入力されていないもの」ということになります。

この指定として期限除外に「審査請求日」を指定します。

その場合（「AND tblAppMas. 審査請求日 IS NULL」）が条件に付加されます。

④手続指定

初期メニューで「条件検索」でなく、「中間台帳」を選択して、条件検索画面を開いたときのみ使用可能となります。

中間台帳は、入力データの確認リストを作成するためのものです。

⑤番号指定

選択条件として、番号の種類を選択します。
以下のものが選択できます。

- 「整理番号」「出願番号」「登録番号」「審判番号」「異議番号」「更新番号」「国際出願番号」
- 「国際公開番号」「後記号」「SubRef」「UserRef1」「UserRef2」「UserRef3」「書換番号」
- 「無効審判番号」「取消審判番号」

⑥追納



「空白」「通常」「追納」「期限切」「期限内」「追納他」

- ・空白・・・追納の条件指定をしない
- ・通常・・・印刷日で納付期限内のもの
- ・追納・・・印刷日で追納期限内のもの
- ・期限切・・・印刷日で納付期限が切れたもの
- ・期限内・・・印刷日で納付期限内か納付期限が設定されていないもの
- ・追納等・・・印刷日で追納または納付期限切れになっているもの

(例) 印刷日を「2009/01/10」として検索した場合 (○: ヒットする、×: ヒットしない)。

納付期限	通常	追納	期限切	期限内	追納他
2009/01/15	○	×	×	○	×
2009/01/05	×	○	×	×	○
2008/06/20	×	×	○	×	○

⑦関連



「空白」「国内優先」「優先権」「原出願」

- ・空白・・・関連出願の条件指定をしない
- ・国内優先・・・関連出願に国内優先権の基礎出願「優先(国内)」が1件以上あるもの
- ・優先権・・・関連出願にパリ条約の優先権の基礎出願「優先(条約)」が1件以上あるもの
- ・原出願・・・関連出願に各種原出願「遡及出願、原願(分割)、原願(変更)、原願(継続)、原願(CIP)、原願(FWC)」のいずれかが1件以上あるもの

⑧状態

「空白」又は、状態区分テーブル (lstStatus) から選択。

- ・空白・・・状態区分の条件指定をしない
- ・状態区分テーブルから選択

出願台帳の権利状態が指定された状態と同じもの

下図「各種設定」の「状態表」によって設定された内容が状態のプルダウンで表示されます。

検索対照は、出願台帳の審査経過タブの権利状態です。

【顧客】

① ② ③ ④

①顧客選択方式

「Or」「And」「Not」

以下の④で指定する顧客 ID 同士の結合指定です。

「Or」を指定した場合、「いずれかの顧客が含まれるもの」となります。

「And」を指定した場合、「指定した全ての顧客が含まれるもの」となります。

具体的な使用方法としては、「出願人」と「在外代理人」を「And」で指定する場合です。

その場合、両方が含まれている案件となります。

又、出願人を複数指定した場合は、指定した出願人どうしの共願の案件となります。

②顧客抽出方式

「事件単位で抽出」「共願人も抽出」

通常は「事件単位で抽出」を指定します。条件に「AND tblAppCus.SEQNO = 1」が付加されます。

「共願人も抽出」とした場合、ヒットした案件の件数と行数は一致しません。共願の場合には出願人の数だけ行が作成されますので、通常、案件の数よりも行の数が多くなります。

③顧客種別

「空白」又は「共願種別テーブルより選択」

特定の共願種別のものを選択するために指定します。

これを指定した場合条件に「AND CoAppType IN (顧客種別)」が付加されます。

顧客種別はKEMP OS標準で使用しているのは以下のとおりです。

- 1：依頼人
- 10：代表出願人
- 11：出願人
- 21：代理人
- 31：発明者
- 91：通知先
- 92：請求先

④顧客 ID

顧客を最大10件指定できます。

⑤依頼人

依頼人を含むか否かの指定です。

上記で③の顧客種別を指定し、かつその種別が「代表出願人(10)」「出願人(11)」「依頼人(1)」の場合のみ有効です。それ以外では選択条件に影響を与えません。

KEMPOSでは共願人等の1行目は通常は「代表出願人」となります。

又、場合によっては「依頼人」とすることもできます。

主な使い方としては、顧客種別として「代表出願人(10)」を選択した場合に、依頼人(1)も含めて対象とする場合です。

依頼人を「True」とした場合③の顧客種別と合わせて以下のような条件となります。

顧客種別が「代表出願人(10)」の場合

「AND (CoAppType In (10, 101, 1, 111))」

顧客種別が「出願人(11)」の場合

「AND (CoAppType In (11, 10, 101, 1, 111))」

顧客種別が「依頼人(1)」の場合

「AND (CoAppType In (1, 10, 101, 111))」

⑥Clear

⑦グループ

上記④で顧客を指定した場合、顧客台帳で、その顧客のグループとして登録されている顧客も選択対象とする、という指定です。

グループは顧客台帳で「住所/他」タブの「グループ」ボタンを押すことで開くフォームで確認することができます。

⑧共願

共願(出願人が2名以上いる)ということが条件として付加されます。

【担当者】

The screenshot shows a search interface with the following elements:

- ①** Points to the dropdown menu for the '担当者' field, which currently shows 'いずれか'.
- ②** Points to the input field for the '担当者' field, which is currently empty.
- ③** Points to the search button labeled 'を含む'.

日付/番号	顧客	担当者	Keyword	出願経過	ファミリー	期限案内	任意条件	条件式
		担当者	いずれか					を含む

①担当者種別

「いずれか」「管理者」「担当者」「担当弁理士」「翻訳担当」「補助担当1」「補助担当2」

- ・ 選択対象の指定です。USERID（担当者コード）を入力する欄は出願台帳上に6個あり。そのどれを検索対象とするかの指定です。

「いずれか」を選択した場合は、この6個のどこかに入力されていればヒットします。それ以外を選択した場合は、選択した項目が検索対象となります。

「担当弁理士」を選択した場合の検索式は「(tblAppMas.担当弁理士 = 100)」となります。

②担当者 ID

- ・ 担当者テーブルに登録してある担当者からプルダウンで選択します。空白の場合は、「条件として指定しなかったもの」とみなします。担当者がNULLのものという検索条件の指定はできません。

③担当者選択方式

「を含む」「を除く」

- ・ 「を除く」を選択した場合の条件式は「tblAppMas.担当者 <> 1」となります。
- ・ この場合 tblAppMas.担当者=NULL のものは検索対象から外れます。

【keyWord】

The screenshot shows a search interface with a header row containing the following fields: 日付/番号, 顧客, 担当者, KeyWord, 出願経過, ファミリ, 期限案内, 任意条件, 条件式. Below the header is a search bar with a dropdown menu, a radio button labeled 'Or', a dropdown menu labeled '部分一致', and a 'Clear' button. Below the search bar are two rows of empty input fields. Numbered callouts 1-5 point to: ① 顧客, ② 担当者, ③ KeyWord, ④ 出願経過, and ⑤ 任意条件.

keyWord 検索の主な用途は、指定した検索項目(権利範囲)を部分一致で検索することです。

①検索対象

「名称」「英名称」「IntCl」「権利範囲」「英権利範囲」「KeyWord」「備考」「英備考」「顧客 Ref」「整理番号」「YourRef」「顧客担当」「出願番号」「公開番号」「公告番号」「登録番号」「審判番号」「異議番号」「更新番号」「関連出願番号」「優出願番号」「内優出願番号」「原出願番号」「消滅」「期限種別」「回答種別」「手続名」「国際出願番号」「国際公開番号」「公表番号」「後記号」「SubRef」「UserRef1」「UserRef2」「UserRef3」「書換番号」「無効審判番号」「取消審判番号」「発明者表示」「英発明者表示」「権利者表示」「英権利者表示」から選択。

②選択方式

「And」「Or」「Not」

- And ⑤で指定したキーワードが全て含まれているものとなります。
⑤で「装置」「方式」を指定した場合の検索式は以下のとおりです。
(tblAppMas.名称 like '%装置%' And tblAppMas.名称 like '%方式%')
- Or ⑤で指定したキーワードのいずれかが含まれているものとなります。
⑤で「装置」「方式」を指定した場合の検索式は以下のとおりです。
(tblAppMas.名称 like '%装置%' Or tblAppMas.名称 like '%方式%')
- Not ⑤で指定したキーワードのいずれかが含まれているものを除いたものとなります。
⑤で「装置」「方式」を指定した場合の検索式は以下のとおりです。
Not (tblAppMas.名称 like '%装置%' Or tblAppMas.名称 like '%方式%')

③照合方式

「完全一致」「先頭一致」「後方一致」「部分一致」「Null」

- ここで「NULL」を指定した場合のみ、特別な意味となります。
⑤のキーワードの入力欄はクリアされ、入力不可となります。
検索条件式は以下のとおりです。
tblAppMas.名称 Is Null

④Clear

①②③⑤をクリアし初期状態にします。

⑤キーワード

- 検索するキーワードを入力します。
- 最大10個まで指定できます。

【出願経過】

出願台帳ではなく、出願経過を検索対象とする場合に使用します。
出願台帳に転記されていない日付けについても、ここで指定することで、検索対象とすることができます。

① ② ③

① 選択方式

「And」「Or」

② 経過日付の種類

「手続日」「受領日」「送付日」「手続期限」から選択。
初期値は「手続日」

③ 経過手続の種類（最大3種類指定できる）

手続定義 (1stProcDef) から選択。

下記の2つは、通常の手続ではありません。特別な選択方法のための指定です。

0 全経過：指定した期間内にある全ての手続を選択対象とします。

0 全指令：指定した期間内にある手続で、期限があるものを選択対象とします。

具体的な使い方としては、以下のようなケースを想定しています。

- ・日付の種類として「受領日」を指定し、経過の種類として「0 全経過」を指定し、日付範囲として今日の日付けを入力することで、今日入力した経過全てを選択することができます。
- ・経過の種類として「登録査定」「登録審決」「拒絶査定」を指定すれば、今月査定のあった件を検索することができます。

この場合、レポートの種類は特に問いません。

また、ファミリーを印刷するための特別なレポートは用意しておりませんので、出願一覧表等を使用して印刷し（またはエクセル出力して）、確認していただきます。

整理番号	出願分類	顧客名	名称
▶ 0005-WO/US	US特許/新	アルプス電気株式会社	
0005-WO/US-2	US特許/新	アルプス電気株式会社	
0005-WO/US-3	US特許/新	アルプス電気株式会社	
0005-JP	特許	アルプス電気株式会社	
0005-WO	WO特許	アルプス電気株式会社	

ここで、上記のどれを指定して検索しても同じ結果が得られます。

【期限案内】

日付/番号	顧客	担当者	KeyWord	出願経過	ファミリ	期限案内	任意条件	条件式
期限指定	期限範囲			外代案内	顧客回答	外代指示	手続完了	
	1900年1月1日	9999年12月31日						

期限案内の検索対象は、出願台帳の「期限案内」に入力されている期限です。

「国内移行」「審査請求」「年金納付」の3種類があります。

期限案内の用途としては、外国出願で現地代理人からの案内から現地代理人への指示までの工程の期限を管理するものです。

期限案内		年金更新	受任・他	発明者	権利者	数量	任意期限
		庁への手続	外代から案内	顧客から回答	外代への指示		
国内移行	期限						
	応答						
審査請求	期限	2007/01/01					
	応答						
年金納付	期限						
	応答						

期限指定（案内の種類）

「審査請求期限」「国内移行期限」「年金納付期限」から選択。

外代案内／顧客回答／外代指示／手続完了

「空白」「未」「済み」から選択。

空白：指定しない

未：応答がない

済み：応答あり

これらを組み合わせることで、以下のような案件を検索することができます。

- ・現地代理人からまだ案内が来ていない
外代案内が「未」のみを指定
- ・現地代理人から案内が来てクライアントに連絡しているがまだ回答をもらっていない
外代案内が「済み」、顧客回答が「未」という条件で指定

【任意条件】

日付/番号	顧客	担当者	KeyWord	出願経過	ファミリ	期限案内	任意条件	条件式
<div style="border: 1px solid gray; height: 50px;"></div>								

任意条件は、文字通り、任意の条件を検索条件として付加したい場合に使用します。
初期値は、リスト様式で指定しておくことができます。

様式ID	1110	様式名	出願一覧表				
リスト設定	選択台帳	選択項目	選択印刷順	受任設定	その他設定	CSV	請求出力
リスト種別	条件検索	台帳種別	出願台帳	自他分類	自願		
レポート名	出願一覧Lis2	内外区分	自動				
レポート名2		法分類	全分類				
検索日指定	出願日	応答期限		担当種別			
状態指定		関連出願		期限解除			
顧客種別/初期値	代表出願人	<input type="checkbox"/> 存続(Live)	<input type="checkbox"/> 未印刷	<input type="checkbox"/> 依頼人			
印刷順/初期値	出願日	<input checked="" type="checkbox"/> Header	<input checked="" type="checkbox"/> Title	<input type="checkbox"/> 経過			
印刷順/初期値2		<input type="checkbox"/> IDS	<input checked="" type="checkbox"/> 表示SW				
印刷順	tblAppMas.整理番号, tblAppMas.出願ID, SeqNo						
任意条件	<div style="border: 2px solid red; height: 40px;"></div>						

また、プルダウンにて、登録済みの任意条件を選択することもできます。
任意条件は、各種設定→任意条件で登録しておくことができます。

任意条件	
条件式ID	0001-0999: 出願条件 1000-1999: 受任条件 2000-2999: 期限検索 5000-5999: 請求条件 6000-6999: 入金条件 7000-7999: D N条件
条件名称	
条件式	
レコード:	1 / 1

任意条件の使い方は多種の方法が考えられますが、サブクエリ・ユーザー定義関数と組み合わせることで標準の検索ではできない検索条件を指定することができます。

ただし、この部分については、直接記述する必要がありますので、基本的には任意条件のテーブルに登録しておいて選択し、期間等についてだけその場で修正するといった使用方法になると思われます。

この部分は、SQLServer の検索式の知識及びKEMPOS のテーブルのフィールド名の知識が必要になりますので、具体的内容をお問合せいただき、その内容が可能であれば、メール等で検索式を返信します。

(例)

1. 管理者が A さんで担当者が B さんの組み合わせの件を抽出したい。
(担当者のみ又は管理者のみの場合は、担当者タブで指定できるが、組み合わせはできません。)
tblAppMas. 出願 ID IN (select 出願 ID from tblAppMas where 管理者 = 1 and 担当者 = 2)
この場合、A さんの担当 ID は「1」、B さんの担当 ID は「2」です。
2. パリ条約の優先権の基礎出願が複数件あるもの。
kmp. ksql_getrelappcount(tblAppMas. 出願 ID, 22) > 1
ここで、22 は関連出願区分で「優先(条約)」を意味します。
又「ksql_getrelappcount(tblAppMas. 出願 ID, 22)」は、指定した関連出願の件数を取得するユーザー定義関数です。出願 ID 及び関連区分を引数として渡します。

【条件式】

日付/番号	顧客	担当者	KeyWord	出願経過	ファミリー	期限案内	任意条件	条件式
								

- ・条件式は、検索が終了した時に、検索式（WHERE の部分）を表示します。
EDIT ボタンを押すことで、変更することもできます。
変更した上で再度「検索」ボタンを押すことで、変更した条件で検索できます。
- ・実際は、ここで検索条件を変更して再検索することは通常ありません。
通常は、検索条件が、意図したとおりになっているかを確認する目的で使います。
- ・リスト様式として「出願一覧表」を選択し、条件をそのまま検索した場合の検索式は、以下のとおりです。

	<code>{tblAppMas}.削除FG=0 And {tblAppMas}.CtrlType=1 And {tblAppMas}.HomeType=1 And (TBLAPPCUSSEQNO = 1) And {tblAppMas}.出願日 Is Not Null</code>
-----------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

以下の条件が指定されています。

- tblAppMas. 削除 FG=0 : この条件は無条件に不可されます。(削除指定されていない)
- tblAppMas. CtrlType=1 : 自他区分で「自願」が指定されています。
- tblAppMas. HomeType=1 : 内外区分で「内内」が指定されています。
- tblAppCus. SEQNO=1 : 出願人等で 1 行目が指定されています。
- tblAppMas. 出願日 Is Not Null : 日付の種類として出願日が指定されていて、期間は空白ですので、条件としては「出願日が NULL でない」が指定されます。

(4) 検索結果の印刷

条件検索の検索結果を印刷（プレビュー）することができます。

下記の「印刷」（プレビューの場合は Preview を押した状態で）ボタンを押します。

The screenshot shows a web application interface for search results. At the top, there are buttons for 'Edit', 'Preview', and '印刷' (Print). The 'Preview' and '印刷' buttons are highlighted with red boxes. Below the buttons, there are various filters and a table of results. The table has columns for '整理番号' (Organization No.), '出願分類' (Application Category), '顧客名' (Customer Name), '名称' (Name), '出願番号' (Application No.), '登録番号' (Registration No.), and '出願日' (Application Date).

整理番号	出願分類	顧客名	名称	出願番号	登録番号	出願日
P99-0001	特許(旧)	キャンパ		2000-000354	0035431	2000/01/01
T2000-001	商標	アルプス電気株式会社	ABA	2000-023456	3334445	2000/02/20
T2000-002	商標	アルプス電気株式会社	ABA	2000-112200	3335555	2000/02/20
P01-0001	特許(旧)	隣日立製作所		2001-010102		2001/01/02
P2001-001	特許(旧)	アルプス電気株式会社	プリンタ	2001-116688		2001/04/11
P2002-001	特許	アルプス電気株式会社	テスト名称	2002-000222		2002/03/10
PCT-100-JP	特許	アルプス電気株式会社		2003-500113		2002/04/04

ここで「印刷」ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。

確認で「はい」を選択すれば帳票が印刷されます。

印刷する帳票のレポート名及び出力する項目は、リスト様式で指定します。

レポート名の指定

The screenshot shows a dialog box for selecting a report. It has a '様式ID' (Form ID) field with the value '110' and a '様式名' (Form Name) field with the value '出願一覧表'. Below these are several tabs: 'リスト設定', '選択台帳', '選択項目', '選択印刷順', '受任設定', 'その他設定', 'CSV', and '請求出力'. The 'リスト設定' tab is selected. Under this tab, there are fields for 'リスト種別' (List Type) set to '条件検索', '台帳種別' (Account Type) set to '出願台帳', and '自他分類' (Self/Other Classification) set to '自願'. The 'レポート名' (Report Name) field is highlighted with a red box and contains the text '出願一覧Lis2'. Other fields include '内外区分' (In/Out Classification) set to '自動' and '法分類' (Law Classification) set to '全分類'.

レポート名は、「レポート名」で指定します。この場合は「出願一覧 Lis2」となります。

ここでのレポート名は ACCESS のレポートで作成したレポートの名称です。

独自に作成したレポートで印刷する場合は、ここにそのレポート名を入力します。

例えば、元のレポートを修正して、独自のレポート「出願一覧 Lis2_中村」を作成し、

出願一覧表をその形式で印刷したい場合は、ここを「出願一覧 Lis2_中村」とします。

独自に作成したレポートには、通常のレポートの後ろに「_事務所名」という名前にして KEMPOS の標準のものと区別しておきます。

バージョンアップの際に独自レポートは残すようにしています。KEMPOS 標準のレポートを変更した場合、次回バージョンアップの際に元に戻ります。

レポートの元となるテーブル名の指定

The screenshot shows a software window with a header bar containing '様式ID' (1110) and '様式名' (出願一覧表). Below the header is a menu bar with options: 'リスト設定', '選択台帳', '選択項目', '選択印刷順', '受任設定', 'その他設定', 'CSV', and '請求出力'. A text input field below the menu bar contains the text 'tblAppMas', which is highlighted with a red rectangular box.

印刷するレポートの元になる印刷用のワークテーブルの指定をここで行います。
検索結果を元に、自身の Mdb ファイル (kmp 特許.mdb) 内にこのテーブルを作成し、それをレコードソースとしてレポートを印刷する方式となっています。

すでに、作成されているものはこれを変更してはいけません。
新規にリスト様式に追加する場合は、元を指定して COPY で作成すれば、この部分も合わせてコピーされますので、そのまま使用すればよいです。

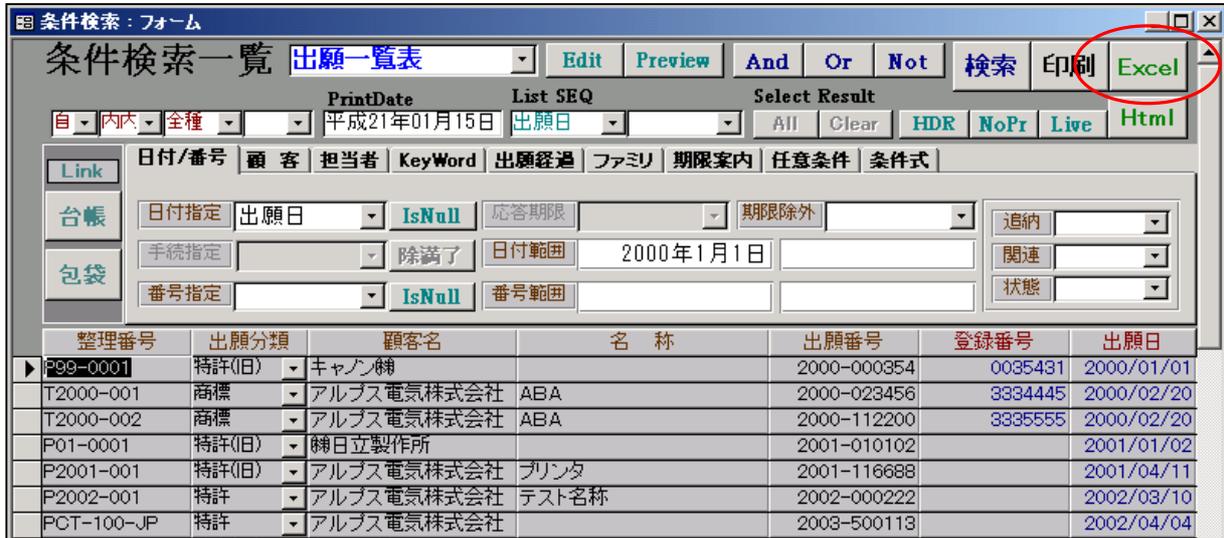
レポートに出力する項目の指定

The screenshot shows the same software window as above, but with the '選択項目' (Select Items) tab selected. A large list of fields is displayed in a text area, enclosed in a red rounded rectangular box. The fields include: tblAppMas.出願ID, SeqNo, 顧客ID, CoAppType, YourRef, 顧客担当, tblAppMas.整理番号, SubRef, LawType, HomeType, CtrlType, AppType, 管理者, tblAppMas.担当者, 名称, 英名称, IntCl, 権利範囲, 英権利範囲, 請求項, 特例出願, Keyword, tblAppMas.備考, 英備考, 記号, StatusID, 印刷済, 受任日, 優先権日, 原出願日, 国際出願日, 国際出願番号, SR 公開日, 国際公開日, 国際公開番号, 出願日, 出願番号, 公開日, 公開番号, 公告日, 公告番号, 登録査定日, 登録日, 登録番号, 公報日, 異議番号, 異議受日, 異議決定日, 審判番号, 審判請求日, 審決日, 無効審判番号, 取消審判番号, 追完手続ID, 追完期限, 出願期限, 優証明期限, 優証明提出, 翻訳期限, 翻訳提出日, 予審請求期限, 予審請求日, 移行期限, 移行日, 審査請求期限, 審査請求日, 存続期限, 納付年, 納付月, 年金期限, 納付日, 更新番号, 書換番号, 更新期限, 更新期限2, 使用証明期限, 更新日, 消滅, 消滅日, 期限種別, 応答種別, 応答期限, 回答期限, 回答種別, 回答日, 最終日, 通知期限, 通知日, 指示期限. Below the list, the text '整理番号,出願番号,出願日,kmp.ksql_GetCoAppLis(tblAppMas.出願ID,1,0) AS 全出願人' is visible.

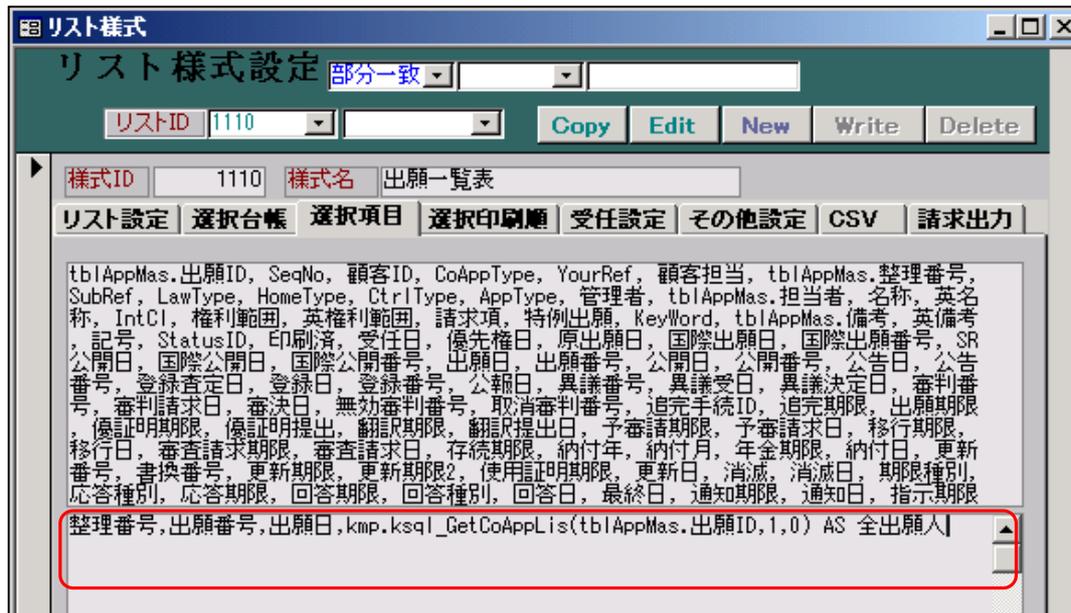
レポートに出力する項目の指定は、「選択項目」タブの上段で行います。
この部分についても、標準で作成してあるものは変更しないで下さい。
新たに追加してここにはない項目を印刷する場合は、ここで追加しておく必要があります。
この部分にもユーザー定義関数をしようすることができます。
この部分は、ユーザーサイドで変更可能な部分ですが、変更にあたっては、どのようにすべきか判断に迷う際は、ご相談ください。

(5) 検索結果のエクセル出力

条件検索の検索結果をエクセルへ出力することができます。
下記の「Excel」ボタンを押します。



ここで「Excel」ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。
確認で「はい」を選択すれば結果をエクセルへ出力できます。
出力する項目は、リスト様式で指定します。



選択項目の下段部分がエクセル出力項目の指定です。
ここでは、「整理番号」「出願番号」「出願日」「全出願人」を指定しています。
ここで「kmp.ksql_GetCoAppLis(tblAppMas.出願ID,1,0)」はユーザー定義関数です。
これは、出願人全てをカンマで区切った形式で取得するものです。
共願の件で、出願人が「A株式会社」「C株式会社」の2社の共願であった場合、以下のように「株式会社A,株式会社B」となります。

上記のように出力項目は、「選択台帳」で指定されるテーブル(単独又は結合されたもの)に含まれている項目及びユーザー定義関数で取得する項目です。

ここで、ユーザー定義関数を作成することで、「選択台帳」にない項目もエクセルへ出力することができます。

ユーザー定義関数の種類とその使用法については、弊社ホームページの Q&A に掲載しています。MSDE 版の項番 29 の「ユーザー定義関数 (使用法)」です。

URL は「www.kempos.co.jp」です。

ここではいくつか代表的なものをあげておきます。

kmp. ksql_GetCoAppCount (tblAppMas. 出願 ID, 1) AS 出願人数

kmp. ksql_GetCoAppLis (tblAppMas. 出願 ID, 1, 0) AS 全出願人

kmp. ksql_GetCoAppZaigaiYourRef (tblAppMas. 出願 ID) AS 在外代理人整理番号

kmp. ksql_GetCountryByAppType (tblAppMas. AppType, 0) AS 出願国コード

kmp. ksql_GetTantou (tblAppMas. 担当者) AS 技術担当者

kmp. ksql_GetLawType (tblAppMas. lawtype) AS 法区分

kmp. ksql_GetProcDate (tblAppMas. 出願 ID, 23100) AS 拒絶査定

kmp. ksql_GetSinsaTax (tblAppMas. 出願 ID, 0) AS 審査請求印紙代

kmp. ksql_GetNenkinTax (tblAppMas. 出願 ID, 0) AS 次回年金印紙代

指定の仕方は、出力したい項目をカンマで区切って記述します。

整理番号、出願番号、出願日、出願人全て、を出力する場合は以下のようにします。

整理番号, 出願番号, 出願日, kmp. ksql_GetCoAppLis (tblAppMas. 出願 ID, 1, 0) AS 全出願人

ここでの項目名が、エクセルの最初の行に入ります。